

■1976年～2009年(12月)

リコーグループの活動	
1976年	●環境推進室設立
1990年	●環境対策室設立
1992年	●リコー環境綱領を制定 ●複写機「FT 5570」がブルーエンジェルマーク(初版)を取得
1993年	●製品使用禁止化学物質の設定 ●リサイクル製品設計基本方針を公表、リサイクル対応設計レベル1施行 ●リコーグループ、オゾン層破壊物質(特定フロン、特定ハロン、四塩化炭素など)の全廃を達成
1994年	●持続可能な社会実現のための概念「コメットサークル」完成 ●プラスチック部品に材料名およびグレード表示を開始
1995年	●リコー環境マネジメントシステムガイドライン初版を発行 ●エネルギースター対応製品を公表 ●リコー御殿場事業所が、ISO14001認証を取得(日本の認証機関による第1号の認証)
1996年	●化学物質管理システム「RECSIS(Ricoh Environmental and Chemical safety Information System)」が稼働 ●リコーUKプロダクツが、BS7750/ISO14001の認証を取得
1997年	●79種類の管理化学物質を設定 ●リサイクル部品を使用することを前提に開発された業界初のリマニュファクチャ専用複写機「Spirio 5000RM」を発売
1998年	●リコー環境行動計画を策定 ●環境推進室と環境対策室の機能を統合し、社会環境室設立(現社会環境本部) ●リコーリサイクル事業部発足 ●リコーグループグリーン調達ガイドラインを発行 ●リコー福井事業所、再資源化率100%(ごみゼロ)を達成
1999年	●リコーグループ環境報告書を初発行 ●リコー、「環境ボランティアリーダー養成プログラム」開始 ●生物多様性保全のための森林生態系保全プロジェクトを開始(於バングラデシュ) ●リコー、1998年度の環境会計を公表 ●タイプⅢ環境ラベルによる製品の環境負荷情報を開示(imagioMF6550)
2000年	●リコー、複写機でエコマークを初取得(業界初)
2001年	●循環型エコ包装を初めて市場に投入 ●省エネ技術「QSU(Quick Start-Up)」を初めて搭載したデジタル複合機「imagio Neo 350/450シリーズ」を発売 ●社会環境室から社会環境本部に改組 ●リコー、京都議定書の発効に賛同する企業による署名運動「e-mission55」に署名
2002年	●世界のリコーグループ主要生産拠点でごみゼロを達成 ●リコーが、国連「グローバル・コンパクト」に参加表明 ●環境行動計画に「生態系保全活動」を盛り込む ●リコーグループの目指す姿「Three Ps Balance」を提唱 ●紙製品に関する環境規定を制定
2004年	●オフィス機器で初めて次世代蓄電デバイス「キャパシタ」を活用した省エネ技術「HYBRID QSU」を採用したimagio Neo 752/602シリーズを発売 ●化学物質管理システム(CMS)認証制度 開始 ●リコー大森事業所のVOC試験所が、「材料研究および材料試験に関するドイツ連邦研究所」(略称:BAM)から、メーカーとして世界初の認証を取得
2005年	●リコーアメリカスコオペレーションが、世界最大級の高校生による科学コンテストISEF(国際学生科学技術コンテスト)で「リコー・サステナブル・デベロップメント賞」を授与 ●高速デジタル複合機imagio Neo 602ec/752ecの筐体の一部に複写機・プリンター業界では初となるバイオマスプラスチックを採用
2006年	●GELJETテクノロジーを採用し、最大消費電力の大幅削減を実現した複写機「imagio MP C1500」シリーズを発売 ●省エネ技術「カラーQSU」を搭載したデジタルカラー複合機imagio MP C4500/C3500シリーズを発売 ●リコー、「2050年長期環境ビジョン」を公表 ●リコーグループで、製品含有化学物質マネジメントシステムを構築 ●非生産事業所1,022拠点の所有地・借用地の土壌汚染調査を完了し、生産事業所を含めたリコーグループの全サイトで土壌汚染リスクが把握され、管理された状態となる
2007年	●リコー、国連グローバル・コンパクトの「気候に配慮するビジネスリーダー綱領」に署名 ●低温定着を実現する新カラーPxDトナー(重合トナー)を採用した「imagio MP C7500/6000」を発売
2008年	●リコー、「企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)」に参加 ●リコー、ドイツで開かれた生物多様性条約第9回締約国会議で「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」リーダーシップ宣言に署名 ●リコー、国連気候変動枠組条約第14回締約国会議(COP14)で発表された、「CLG: Corporate Leaders' Group on Climate Change」による「気候変動に関するポズナニ声明(Poznan Communiqué)」に賛同し、署名
2009年	●「リコーグループ生物多様性方針」を制定 ●「省エネ」「省資源」「汚染予防」の3分野で、リコーグループ中長期環境負荷削減目標(2020、2050年)を設定 ●リコー、Japan-CLP(日本気候リーダーズ・パートナーシップ)に参加 ●リコー初のデジタルフルカラー再生機imagio MP C3500RC/2500RCシリーズを発売 ●世界初、バイオマスタナーを採用したデジタル複合機「imagio MP 6001GP」を発売